

第四商業高等学校（1学年用） 教科

芸術

科目 音楽 I

教科： 芸術

科目： 音楽 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ MOUSA① ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものとしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
A 歌唱実習（JPOPを中心に） 【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、体の使い方などの技能を身に付け、発声の基本的なメカニズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持って演奏できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 発声のメカニズムや曲想と音楽構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱実習に取り組む態度を培う。	【指導事項・教材等】 ・「発声のためのトレーニング」発声練習を通して歌唱に必要な体の（使い方や、発声のメカニズムを体験を通して学ばせる。・「発声の仕組みを知らう」発声のメカニズムを解説したプリントを使い、より理論的な発声のメカニズムを学ばせる。・「翼を下さい」「やさしいあの子」「少年時代」「ハナミズキ」二重唱によるハーモニーの美しさを味わせ、発声の技術を向上させる。 ・「Lemon」歌ったり聴き合ったりしながら、曲想を音楽の構造や歌詞との関わりを理解させ、イメージを持って音楽を形作っている要素の働き方などを試行錯誤しながら表現を工夫させる。	○			【知識・技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、体の使い方などの技能を身に付け、発声の基本的なメカニズムを理解できているか。 【思考・判断・表現】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持って演奏できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 発声のメカニズムや曲想と音楽構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱実習に取り組んでいるか。		○	○	○	8
B ウクレレ実習 【知識及び技能】 ウクレレの演奏に必要な基礎技能や奏法の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するのにかについて表現意図を持って演奏できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ウクレレの奏法や技能の向上に主体的に取り組む態度を培う。また技能向上にあたり、自分に合わせた練習方法を工夫しながら積極的に取り組む態度を養う。	【指導事項・教材等】 教科書、プリント、教員作成のテキストを使用する。ウクレレのコード奏法の基礎を身に付けさせる。基本のコードで弾ける簡単な童謡の他、エーデルワイスを歌いながら弾けるようにする。	○	○		【知識・技能】 ウクレレの演奏に必要な基礎技能や奏法の知識を身に付けられているか。 【思考・判断・表現】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するのにかについて表現意図を持って演奏できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ウクレレの奏法や技能の向上に主体的に取り組めたか。また技能向上にあたり、自分に合わせた練習方法を工夫しながら積極的に取り組めたか。		○	○	○	10
C 音楽理論基礎 【知識及び技能】 音価を含む音符の読み方、書き方などの基礎知識を身に付け、歌唱や器楽実習に生かせるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽理論に興味を持ち、その知識を今後の自らの実習に役立てる意識を持たせ主体的・積極的に学習活動に取り組む姿勢を培う。	【指導事項・教材等】 教科書、プリント等の教材を使用し、楽譜を正しく理解するための基礎を学ばせる。	○	○	○	【知識・技能】 音価を含む音符の読み方、書き方などの基礎知識を身に付けられたか。また、その知識を歌唱や器楽実習に生かされたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽理論に興味を持ち、その知識を今後の自らの実習に役立てる意識を持って主体的・積極的に学習活動に取り組めたか。		○		○	6
D 鑑賞（オーケストラ曲） 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と作曲家の意図や文化的歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を構成する要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、曲に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む態度を養う。	【指導事項・教材等】 「展覧会の絵」			○	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と作曲家の意図や文化的歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解できたか。 【思考・判断・表現】 音楽を構成する要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、曲に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞くことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組めたか。		○	○	○	6

1 学期

2 学 期	A 歌唱実習（世界の音楽・芸術歌曲） 【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持って演奏できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む姿勢を養う。	【指導事項・教材】 「サンタ・ルチア」 「0 sole mio」 「Caro mio ben」 カンツォーネ、イタリア古典歌曲を通してイタリアの音楽に触れる。 「野ばら」「君を愛す」ドイツリートの世界に触れる。 「おおシャンゼリゼ」シャンソンの世界に触れる。				【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付けられたか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持って演奏できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組めたか。				10
	B リズム創作 【知識及び技能】 音楽アプリ「flat」を使用し、音楽にオリジナルのリズムを付け、それを音楽に合わせて演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持って演奏できるようにする。また、それぞれのメロディーについてどんなリズムが相応しいかを考えて創作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 リズム創作に主体的に取り組む態度を培う。また技能向上にあたり、自分に合わせた練習方法を工夫しながら積極的に取り組む態度を養う。	【指導事項・教材】 音楽アプリ「flat」を使用してリズム創作を行う				【知識及び技能】 過去に身に付けた基礎をもとに、その技能を更に向き上げ発展させられているか。また、個々のレベルに合わせてリズム創作を行い、これまでに学んだ音楽理論の基礎知識を活用し実践することで、学びを定着しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持って演奏できているか。また、それぞれのメロディーについてどのようなリズムがふさわしいか考え自ら選び、個人の個性を生かした作品を作れたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲に合わせたリズム創作に主体的に取り組めたか。また技能向上にあたり、自分に合わせた練習方法を工夫しながら積極的に取り組めたか。				12
	D 鑑賞（ミュージカル・バレエ） 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と作曲家の意図や文化的歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を構成する要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む態度を養う。	【指導事項・教材】 ・「オペラ座の怪人」ミュージカルとオペラの違いについて学び、ミュージカル作品に親しみ愛好する心を養う。 ・「くるみ割り人形」バレエ音楽について学び、他の芸術との関わりや、他国の文化を学ぶ。				【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と作曲家の意図や文化的歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を構成する要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞くことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む態度を養う。				6
3 学 期	A カップス実習 【知識及び技能】 創意工夫を生かしたリズム表現をするための技能と知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲に合わせた独自のリズムとそれに合わせた動きを創作できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に仲間と考えや発想を話し合い、積極的に作品作りや練習に取り組む態度を養う。	【指導事項・教材】 プリント教材と動画でカップスの基本動作を練習する。創作部分においてはタブレットを活用し、youtubeなどから各班で好きな音楽を選び、それを教材として活用する。				【知識及び技能】 創意工夫を生かしたリズム表現をするための技能と知識を身に付けられたか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲の構成や曲想を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲に合わせた独自のリズムとそれに合わせた動きを創作できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に仲間と考えや発想を話し合い、積極的に作品作りや練習に取り組めたか。				8
	B 鑑賞（オペラ） 【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と作曲家の意図や文化的歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を構成する要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む態度を養う。	【指導事項・教材】 「ジャンニスキッキ」				【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と作曲家の意図や文化的歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を構成する要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聞けたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組めたか。				4
合計										70